

第 156 回 計測技術委員会議事録

日 時 平成 29 年 10 月 13 日 (金) 11:00～13:00

場 所 Any サテライトスペース 2

出席者 委員長 大谷 (日大)

副委員長 仲嶋 (福山大)

委 員 河村 (アンリツ), 佐山 (防衛大), 布施 (電中研)

古川 (横河), 望月 (三菱電機)

幹 事 作本 (日大), 今池 (日大)

幹事補佐 白井 (日電検)

資 料

156-1 平成 30 年度 計測技術委員会活動計画二次案

156-2 平成 30 年度 研究会開催予定二次案

156-3 平成 29 年度 計測技術委員会 活動状況

156-4-1 計測研究会開催案内 (10 月開催分)

156-4-2 計測研究会開催案内 (11 月開催分)

156-5-1 研究会企画連絡シート (12 月開催分)

156-5- 研究会企画連絡シート (2 月開催分)

156-5-3 計測, 光応用・視覚合同研究会での意見交換会の開催について

156-5-4 研究会企画連絡シート (3 月開催分)

156-6-1 基礎・材料・共通部門技術委員会予算申請書

156-6-2 A 部門活動資金に関する役員会申し合わせ事項

156-7 原稿料振込先金融機関ご申告のお願い

156-8 計測技術における研究開発の動向と最前線 (解説)

計測技術委員会委員名簿

議 事

1. 議事録の確認

以下修正のうえ承認された。

P.1L.29 209 年度→2019 年度, P.2 L4 電気学科→電気学会

P2.L6 規格シート→企画シート

2. 研究調査運営委員会

大谷委員長より以下の報告があった。

- ・ 技術委員会予算に関して, 10 万円以下の技術委員会予算に関しても前年度に申請し予算化することとなった。
- ・ 共通英文論文誌について定期的に各技術委員会へ招待解説論文の執筆依頼がある。
- ・ 研究調査運営委員会資料について, これまで通り印刷物 20 部持参のほかに, pdf 形式で提出しサーバに残すこととなった。

- ・ 電子情報通信学会との研究会連催での問題点について電気学会本部が認識し始め、今後指示がある。現状は企画シートで必要部数を申請すれば発行される。
- ・ プラズマ技術委員会とパルス電磁エネルギー技術委員会が合併したためそれぞれの担当領域を確認した。
- ・ 他の技術委員会（マグネティクスを除く）の研究会開催数は年 3, 4 回で計測研究会の開催数はそれに比べて多い。
- ・ 活動資金に関して無事支払われたが今年もそろそろ来年度の申請が必要。

3. 平成 30 年度計測技術委員会活動計画二次案

作本幹事より資料 156-1 に基づき説明があった。

4. 平成 30 年度計測研究会開催予定二次案

作本幹事より資料 156-2 に基づき説明があった。

- ・ 年 6 回の開催とし、平成 31 年度に関しては改めて開催回数を見直すこととした。
- ・ 11 月開催（佐賀）について計測自動制御学会九州支部共催から協賛に変更となった。
- ・ 担当委員を割り振った。6 月：佐山，河村，島岡。7 月：仲嶋，望月，大谷。11 月：福本，大谷，作本。12 月：水野（電通大），今池，作本。2 月：仲嶋，古川，水野（NICT）。3 月：白井，松村，小平。
- ・ 6 月開催の特別講演は産総研の飯田氏に依頼することとなった。

5. 平成 29 年度計測技術委員会活動状況

資料 156-3 に基づき説明があった。

6. 開催予定の研究会

資料 156-4-1~2, 156-5-1~4, 156-6-1 に基づき説明があった。

- ・ 平成 30 年度 6 月開催予定の計測研究会で産総研の飯田氏に特別講演を依頼するため活動資金を申請し謝礼金とする。資料 156-6-2 に活動資金に関する詳細を示す。

7. 特集解説（計測技術における研究開発の動向と最前線）

大谷委員長より資料 156-7, 15-8 に基づき説明があった。

- ・ 原稿料は著者から計測技術委員会に寄付されることとなった。
- ・ 投稿された解説記事について紹介があった。

その他

- ・ 2018 年 4 月号特集論文について 12 件の論文と 1 件のレターの初回査読結果が投稿者に返却されたことが報告された。

次回予定 日 時 平成 30 年 2 月 2 日（金） 場 所 未定